

図書部発行

MIMORIA

No.218



2019.10.5 Book Cafe



中村学園女子中学校・高等学校 図書館情報

【目次】

読書のすすめ 平岡真由美 先生……P1 ・ 織田由紀乃 先生……P2
特集「私のおすすめの本」 ………P3
水仙祭～ブックカフェ開催～ ………P5

読書のすすめ。



先生方に、オススメの本や思い出の本、
読書に関するいろいろなエピソードなど
を語っていただきます！（敬称略）

国語科 平岡 真由美

「年間何冊の本を読んでいますか？」と問われたら、あなたは何と答えますか？十冊？五十冊？もしかしら、百冊と答える人もいるかもしれません。さまざまな作品を読み、知識・教養を積極的に増やしていこうとする、その姿勢はとても素晴らしいものであり、尊敬に値します。しかし、今回は少し違う観点のお話をお伝えできたらいいなと思っています。

『竹取物語』と聞いて、「そんな作品は知らない」と答える人は、まずいないでしょう。なぜなら、中学一年生の教科書に記載されており、必ず中学校で取り扱う作品だからです。そんな皆さんにクイズです！『かぐや姫と帝は相思相愛だったでしょうか？違うでしょうか？』この問いに対し、「えー？そうだったの？」「そんな設定知らない！」と答える人も多いかなと思います。皆さんが読んだことがあ

るのは、『竹取物語』の「冒頭」や「蓬莱の玉の枝」、「昇天」の部分だけというパターンが多いかもしれませんね。でも、先ほどの問いの答えを考えるためには、「昇天」のシーンに加え、「かぐや姫と帝の出会い」や「かぐや姫と帝の文通」のシーンなど、他の場面を読まないことには、判断が難しいと思います。つまり、一部分だけを読んだり、時間をかけずにさっと読んだりするだけでは、気づけないこともたくさんあるのではないかと思います。

今回お伝えしたいのは、『知っている』『もう読んだ』作品は、読書の対象にならないなんて、そんなことはない！ということ。自分が好きな本は、何度読み返したていいのです。いろんな種類の本を読むことももちろん大切ですが、時には同じ本を読み返して、読むたびに、新しい解釈を発見することも大事なことでないでしょうか。ちなみに、クイズの答えですが、実は正確な答えはわかって

いません。「相思相愛だった」と答える学者もいれば、「ただの情でしかない」と答える学者もいます。つまり、学者ほどの博識な人たちでも意見が割れるので、読む人によって解釈が異なるのは当たり前なのです。それも踏まえた上で、好きな本は何度でも読み返して、何度でも新しい出会いをし、あなたの思う解釈を見つけてほしいなと思います。

『かぐや姫と帝は相思相愛だったと思いますか？』あなたの答えが見つかったら、ぜひ教えてください！いつでもお待ちしております。

★文学集・現代語訳本など、
図書室にあります！



『置かれた場所で咲きなさい』

渡辺和子 著

あなたは、今の自分の状況に満足していますか？

「ああすれば良かった…こうすれば良かった…」自分が選択したものの以外が良く見えたり、人のことを羨んだり。私は、「隣の芝生は青い」と感じる人が多い人間でした。今回紹介する本は、そんな私の考え方を少し変えてくれた本です。

うまくいかない時、状況や環境を非難しがちです。しかし、この本を読むことで、案外、それは自分の捉え方の転換だけで解決することが多いということに気付くかもしれません。本の中で、私が感銘を受けた物事の捉え方をいくつか紹介します。



『まず考え、次に感じ、その後に行動する』

文明の利器は、「便利」「安楽」「スピード」をもたらしましたが、その反面、人間から「待つこと」「耐えること」「静かに考えること」といった習慣を奪ってしまったかのよう to 思います。何かにぶつかった時、反射的に行動し、それから感じ、それから考えるのではなく、その逆の順序であることが大切です。どんな相手や物事に対しても、まず考え、次に感じる余裕を持ち、その後に行動してみて下さい。失敗を重ねながらも、その順序を繰り返すことによって、人格が形成されていくのです。

『あなたが大切だ、と誰かにいってもらえるだけで生きてゆける』

いのちは大切だ、いのちを大切に何万回言われるより、“あなたが大切だ”と誰かにそう言ってもらえるだけで生きる力が湧いてきます。人間には、所属の欲求があり、

人は皆、愛情に飢えています。自分の存在を認められるだけで強くなれます。

『希望には叶わないものもあるが、大切なのは 希望を持ち続けること。』

アウシュビッツに収容されていた人の中で、「いつか娘とともに暮らすこと」「自分がやり残した仕事を完成させること」などの永続的な希望を持っていた二人だけが生き残ったそうです。希望の喪失は、生きる力の喪失でもあり、心の支えがあれば、つらい状況でも耐え抜くことができるでしょう。

みなさんが「置かれた場所」は、楽しいことばかりではないと思います。つらい立場、理不尽な状況の時もあるでしょう。また、社会に出ると、今以上に大変なことがあります。環境を変えることができれば良いですが、そうはいかないのが現実です。そんな時に、どん

なところに置かれても“花を咲かせる心”を持ち続けましょう。境遇を選ぶことができなくても、生き方を選ぶことができます。人はどんな場所でも幸せを見つけることができるかもしれないと思わせてくれる一冊です。

★図書室にあります！



読書の秋に読んでほしい!



私のおすすめの本

暑い、暑すぎた夏も過ぎ去りすっかり涼しい季節となりました。日が暮れるのも早くなり、まさに〈秋の夜長〉そんな日々の読書におすすめの本を紹介します!

『か「く」「し」「し」「し」と』

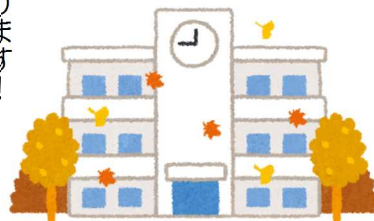
住野よる 著

読書の秋ということで、私はおすすめの本を紹介したいと思います。私のおすすめの本は『君の脾臓を食べたい』の作者、住野よるさんの『か「く」「し」「し」「し」と』です。

この本は、高校生五人がメインの作品で、五人の各視点から、文化祭、修学旅行、受験勉強などの様子が描かれています。これだけだとありふれている物語ですが、五人はそれぞれ、人がわざわざ相手に伝えない「かくしごと」である感情を読みとる能力を持っています。このことによって、ありふれているけど、特別な物語になっています。各話で視点が違ったため、一度読んだときには分からなかったことが、二度目に読んだときには「なるほど!」となったたり、一回目とは違う意味にとらえられたりして、何回も読みたくなるような本です。

特別な能力を持っていることで、高校生活はどう変わるのか、高校生の今、読んでみるとおもしろいのではないかと思います。

また、住野よるさんの作品は他にも心に残るようなものがたくさんあるので、ぜひこの秋に読んでみてください。



★図書室にあります!

☆その他住野よる作品

- ・『君の脾臓をたべたい』
- ・『また、同じ夢を見ていた』
- ・『麦本三歩の好きなもの』
- ・『よるのはけもの』
- ・『青くて痛くて脆い』

『この恋は世界でいちばん美しい雨』

宇山佳佑 著

読書の秋ということで今回は私のオススメの本をみなさんに紹介します。その本は『この恋は世界でいちばん美しい雨』という本です。

簡単に本のあらすじを説明すると、建築家の誠と、カフェで働く日菜。雨がきっかけで恋に落ちた二人は、愛にあふれた同棲生活を送っていた。しかし、バイク事故で瀕死の重傷を負ってしまう。目を覚ました彼らの前に”案内人”と名乗る喪服姿の男女が現れる。

そして誠と日菜は、二人合わせて二十年の余命を授かり、生き返ることになるのだが、それは互いの命を奪い合うという、あまりにも過酷で切ない日々のはじまりだった――。

読み終わると、涙が本当に止まらなくて、とても切ない気持ちで

いっぱいになりました。けれど、切ないのになぜか心温まるお話で、不思議な感じになりました。本当にオススメなので、ぜひ読んでほしいです。

★近日入荷予定！

いちばんのおすすめ

『博士の愛した数式』

小川洋子 著

【内容紹介】

「ぼくの記憶は80分しかもたない」博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた。記憶力を失った博士と常に“新しい”家政婦の私。やがて私の10歳の息子が加わり、ぎこちない日々は驚きと歓びに満ちたものに変わった。第一回本屋大賞受賞。

★図書室にあります！

図書館で人気のある本は？

四月から十月まで、図書館で貸出の多かった本をランキング形式で紹介します。

第一位

『麦本三步の好きなもの』

住野よる 著

【内容紹介】

朝寝坊、チーズ蒸しパン、そして本。好きなものがたくさんあるから毎日はきつと楽しい。図書館勤務の20代女子、麦本三步のなにげない日常。

同率！

第一位

『薬屋のひみつ』

日向夏 著

【内容紹介】

大陸の中央に位置するとある大国。猫猫（マオマオ）は花街で薬師をやっていたが、現在後宮で下働き中である。中世の東洋を舞台に

「毒味役」の少女が宮中で起こる難事件を次々に解決する。

第二位

『PSYCHO-PASS 上』

深見真 著

同率！

『また君と出会う未来のために』

阿部暁子 著

第二位

『愛唄 約束のナクヒト』

小林雄次 著

同率！

『浜村渚の計算ノート』

青柳碧人 著

第四位以下の本

『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ 著

『マスカレード・ホテル』

東野圭吾 著

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

汐見夏衛 著

『寝る前5分暗記ブック』

高校日本史』

『一日一氷 365日のかき氷』

原田泉 著

『それは桜のような恋だった』

広瀬未衣 著

『繕い屋 月のチーズとお菓子の家』

矢崎存美 著



準備の様子



古本の販売・古雑誌の無料配布、お菓子と飲み物のセットの販売をしました。古雑誌が無料!?と驚く声も聞こえました。足を運んでくれた方々は、好きな本や雑誌を楽しそうに選んだり、お菓子とジュースでほっと一息ついていたり。図書部らしい、ゆったりと楽しめる時間を提供できたのではないかと思います。

水仙祭報告♪
ブックカフェを開きました！



開店直前の様子



★ビンゴ大会

今年からの取り組みとして、ビンゴ大会を開催しました。部員の呼び込みもあり、教室いっぱいに参加者が集まりました。ビンゴが当たった方は、景品に文房具や可愛いしおり、お菓子の詰め合わせをもらいました。図書部も楽しめ、ブックカフェや図書部を知ってもらったので、来年もぜひ開催したいと感想が出ました。

お知らせ

12月、冬休み前特別貸出を行います。図書館での貸出冊数が3冊から5冊に。ささやかですが、クリスマスなので、期間中プレゼントも用意！この機会に、普段活字から離れている人も、図書館に足を運んでみては！？



Topic Topic

今回は、ちょっと変わった文学賞をご紹介します。

受賞作をチェックするもよし。応募するもよし。妄想で書き上げた作品を、妄想で投稿するもよし…。

『三行から応募できる 超妄想コンテスト』

三行だけでも中編小説でも、妄想を炸裂させた文章ならなんでも応募できるコンテスト。

『星新一賞』

AIによる作品の応募もOK。実際に、1次審査を通過したAIの作品もあったそうです。

『女による女のためのR-18文学賞』

♪ 応募・内容に年齢制限はありません

応募者は女性限定、選考委員も女性のみという、まさに女性のための文学賞。



秋の読書週間



10月25日(金)～11月9日(土)

☆貸出冊数がふだんの3冊から5冊になります！

☆スタンプカードを実施！

1冊かりるとスタンプが1つもらえます。

10個、20個とためると何かいいものがもらえます…！



スタンプカードは
カウンターに
あります

たくさん読んでね！



他にもたくさん新しい本が
続々入荷しています！



『クックパッド防災レシピBOOK』

在宅避難で役立つ食まわりの知恵から日ごろの備えまで』

『バターの本』

『女子栄養大学栄養のなるほど実験室 研究室で検証しました！
調理によって栄養はどう変わるか』

『へぼ侍』 坂上 泉

『歌舞伎はじめて案内手帖』

君野倫子著・松本幸四郎 監修

『薬屋のひとりごと』 ⑤～⑧ 日向夏



募集中!

図書部部員を随時募集しています！中学生也大歓迎！

毎週火曜日昼休み・図書室にて活動中。

主な活動：ミモピア作成、図書室の掲示やコーナー作り

他校との読書交流会 などなど

見学も歓迎です。気になる方はカウンターへお気軽にどうぞ！

☆ 編集後記 ☆

図書館だより第218号をお届けしました。



秋といえば「読書の秋」をはじめ、たくさんの秋が思い浮かびます。過ごしやすい気候になり、スポーツや旅行など、活発に活動する人、ゆっくりと本を読んだり、音楽を聴いたりなど、人それぞれの「秋」があるのではないのでしょうか。

これから何か挑戦しようという方、まずはその分野の本に目を通してみるのはいかがでしょうか？図書室には色んな「秋」のヒントが散らばっています。

もちろん「読書の秋」のイベントも実施中！ぜひこの機会に図書室へ足を伸ばしてみてください！

最後に、お忙しい中原稿にご協力いただいた先生方、ありがとうございました。